

国語学習の新時代到来!?

教育 ビジネス 最前線

この人 あつし
今野 篤

教育ビジネス アナリスト/コンサルタント
(株)経営教育研究所 代表
専門はフロンティアズ(FCI)とデジタル関連、
マーケティング、個別指導/オンライン/ESD
教育機関を経て、2009年に教育ビジネス専門の
経営教育研究所を設立。教育と産業を結ぶ
エデュケーション・ソリューション・パートナー。
ICT CONNECT121 アナリスト。



コミュニケーション教室をご存知だろうか。国語教室とも似ているようでなんだか違う。国語教室自体も算数や英語教室に比べてぐんと少ないわけだから、コミュニケーション教室のことを知らなくて当然かもしれない。先日とてもユニークなプログラムを持つコミュニケーションを専門とする塾「マナカルキッズ」に出会った。

「話す」に焦点を当てたマナカルキッズ

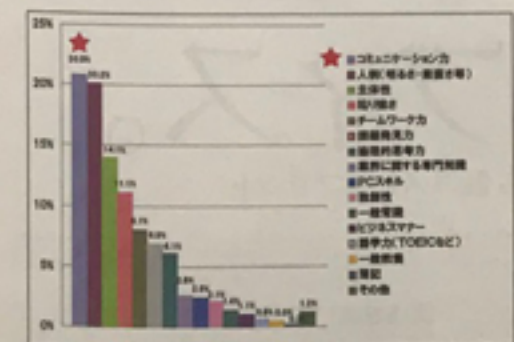
マナカルキッズは、パズル・計算力・書写・作文・コンピュータ・プログラミング・コミュニケーションの7科目を現代の初等教育におけるリベラルアーツと位置づけ、それらを4つのコースに分類。知識をただ教え込むのではなく、子どもたちの個性や能力を引き出すという真のエデュケーション(教育)を行う。これらの学習を通して、リベラルアーツ(一般教養)、コンピュータ、コミュニケーションを統合的に学ぶことで、グローバル社会を力強く生き抜く人材の育成を目指す教室。正に幼児、小学生向けに開発されたコミュニケーション能力開発法だと言える。

日本の教育が変わろうとしている中、先進国を見渡すと日本の教育と比べて明らかな相違点がある。欧米での国語教育は「読む」「書く」「話す」の3本柱で構成されており、とくに小学校の高学年から大学までは「話す」授業が重要視される。それに比べ日本では、「話す」授業がそもそも存在していない。日本人が話下手、交渉下手と言われるのは、単に国民性というわけではなく、日本の国語教育には「話す」授業が存在しないからかもしれない。

マナカルキッズでは、発声練習、音読、論証、説明、早口、聴き力などを体系的に訓練しながら、自己表現力、トーク、ディスカッション、ディベート、アーギュアなどを学ぶ。授業進行は脳科学や心理学をベースに、自然に話すことが好き、考えることが好きになっていくように構成されている。また、トレーニングの中で「相手の立場で物事を考える」「物事には多面性がある」ことを自然に理解できるように組まれている。

「発表」と「聞く」を繰り返すトレーニングの中で、自然と言葉は滑らかになり、伝える力が飛躍的に向上し、結果的に人前で話すことに自信が持てるようになり、スピーキング力が向上する。結果、発表する力・プレゼンテーション能力を高められる。これは是非つけたいビジネススキルだ。

レッスンの成果は、毎月最終日に行われる認定試験で測られ、「音読検定」「聞き力検定」「早口検定」など10



級から10段、名人までのランキングがある。更に生徒は、発表会、弁論大会、ディベート大会などに参加したり、思考力検定に挑戦する。

コミュニケーションは訓練で身に付く

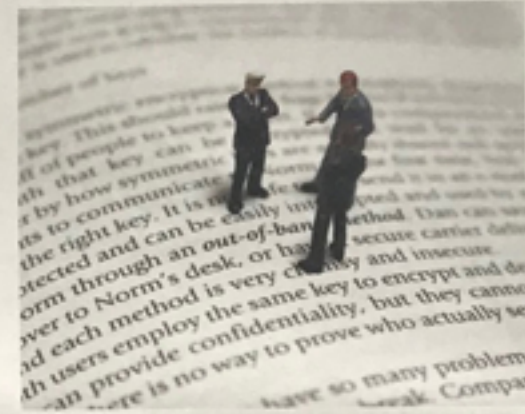
コミュニケーションが、生きていく上で最も大切なスキルのひとつであることに反論はないと思う。現に企業が若者に求める能力は、15年連続で「コミュニケーション力」が1位。成績や英語力と答えた企業はほんの少ししかない。しかし正しい言語技術(コミュニケーション力)がないと、些細なことでトラブルが起きてしまうことがある。皆さんにも学校や会社でそんな経験はないだろうか。

「マナカルキッズでは、初対面の人とでも挨拶や楽しい会話ができる。自分の考えを正確に伝えることができる。相手の状況、感情や思考を理解できる。価値観の違う人間も受け入れることができる。そんな社会における人間としての基礎的な力をコミュニケーション力として考えています」

「現在、子供たちの15%に何らかの発達障害があるとされている。発達障害はその子の特性でそれ自体は問題ではありません。しかし、コミュニケーション力の欠如により周

囲との関係が悪化する二次的被害は避けなくてはなりません。そのためにはシチュエーショントレーニングが必要になってきます」

コミュニケーション力は単なるスキルに過ぎず、そろばんを習ったことがあればそろばんができるし、ピアノを習ったことがない人はピアノを弾くことはできない。コミュニケーションは訓練で身に付き、どんな学習より先に身に付けなくてはならないスキル、それがコミュニケーション力だと井上社長はいう。



実際にマナカルキッズでは、子どもが明るくなった、落ち着きが出た、言いたいことがきちんとと言えるようになった、発表が好きになった、人の話を聞けるようになった、優しくなった、勉強ができるようになったなど、子どもの変化が出ているという。中には子育ての悩みが楽になったという保護者もいるほどだ。

「この世の悩みはすべて人間関係によってもたらされる」とはアルフレッド・アドラーの言葉。AI時代を迎え、コミュニケーションがより重要視される時代が到来したといってもよいだろう。

国語の学習で苦勞した私としては、国語教室の普及は大歓迎である。なにかと算数や英語の陰に隠れがちな国語だが、国語は全ての学習の素。ぜひ国語に光を射し込みたい。

前半 30分 前半30分間はコミュニケーショントレーニング (通称コミュトレ)

「話す」と「聞く」を繰り返すマナカル独自の「コミュトレ」

話脳トレーニング

★話すことが上手に!
★表現力が豊かに!

コミュトレとは?

笑顔と拍手の中でクイズやゲームを通してコミュニケーション力をつける方法です

朗読トレーニング

音読、読書の練習、他の子は聞き力訓練を同時に行います。物語が上手に出来るようになれば人前でも自信を持って話ができます。

challenge

音読検定 聴き力検定 早口検定

論証トレーニング

伝えたいことをわかりやすく伝えるためのトレーニングです。「論証」「説明」「物語」の3つのテーマで論理思考を学びます。

後半 30分 後半30分間はコースに分かれてリベラルアーツ

「リベラルアーツ」と「コミュトレ」を具現化する

算数!

算数の基礎から応用まで幅広く学ぶことができます。

書道!

書道を通して心を落ち着かせることができます。

英語!

英語の基礎から応用まで幅広く学ぶことができます。